

# 種苗生産放流事業（コイ，ワカサギ）

中村幹雄・吉尾二郎・山本孝二・小川絹代

県内における内水面漁業の振興，資源維持のため，コイの種苗生産，放流を行った。また漁業協同組合の依頼によるワカサギのふ化，放流も行った。

## 1. コイの種苗生産概要

### 1) 産卵，ふ化

採卵期日 5月21日  
産卵使用親魚 ♀12尾，♂20尾  
産卵量 約120万粒  
ふ化率 約70%

### 2) 餌料生物の培養

餌料生産 主として淡水産ツボウムシ，タマミジンコ類  
施肥原料 石灰，ケイフン，化学肥料  
施肥量 石灰（0.2 kg/m<sup>2</sup>） ケイフン（0.5 kg/m<sup>2</sup>）

### 3) 稚魚の飼育状況

放養月日 5月29日  
放養量 50万尾  
取揚量 18万尾  
飼育池 80m<sup>2</sup>の養成池6面

### 4) 配布実績

毛仔 10万尾（神戸川漁協5万尾，養殖漁家5万尾）  
青仔 3万尾（一般養殖漁家）  
河川放流（新仔）3万尾（斐伊川漁協1万尾，宍道湖漁協3万尾）  
養殖用大型種苗 2.1トン（約1000尾，養殖漁家）

56年度の鯉の種苗生産は前年度に準じて行い，計画通り，河川への放流，養殖用種苗の配布を行うことができた。

## 2. ワカサギのふ化、放流

宍道湖漁業協同組合の依頼によりワカサギのふ化放流を行った。

### ワカサギふ化放流概要

種卵移入先	長野県諏訪湖
移入量	7000万粒(33000粒/1枠, 70箱×30枠=2100枠)
移入日	3月25日
ふ化日	4月5日～4月7日
ふ化率	55%
ふ化池	コンクリート製 2m×3m=6㎡を6面
ふ化用水	河川水と地下水を併用
放流日	4月8日

### 問題点

ワカサギの卵を試験場でふ化し、ふ化稚魚を宍道湖に輸送する方式においては、ふ化管理を充分に行いふ化率を高める意味では好都合であるが、ふ化稚魚の取揚、輸送中の減耗が相当大きいことが問題である。